DEPARTMENT OF GLOBAL STUDIES, FACULTY OF GLOBAL CULTURE, KYOTO SEIKA UNIVERSITY

OVERSEAS LONG-TERM FIELDWORK PROGRAM GUIDE

2025

京都精華大学 国際文化学部 グローバルスタディーズ学科

DEPARTMENT OF GLOBAL STUDIES, FACULTY OF GLOBAL CULTURE, KYOTO SEIKA UNIVERSITY

OVERSEAS LONG-TERM FIELDWORK PROGRAM GUIDE 2025

2025

目 次 Table of Contents

1 **概 要** Outline 02

2 **海外長期フィールドワーク** Overseas Long-Term Fieldwork 06

履修の流れ

科目の構成

派遣先一覧

セネガル 08

フランス 10

スペイン 12

トルコ 14

韓国 16

台湾 18

フィリピン 20

タイ 22

ニュージーランド 24

アメリカ 26

カナダ 28

履修にあたっての注意事項 30

3 **安全管理について** Safety Management 34

4 **各種様式** Forms 38

5 **参考情報** Reference Information 40

※内容は2025年3月時点の予定です。
国際情勢などにより、研修先や費用が変わる可能性があります。

1 概要
Outline

キャンパスから、現場へ

グローバルスタディーズ学科では
必修授業として３年次に
海外長期フィールドワークを実施します

海外長期フィールドワーク

３年次の1Q･2Qでは、世界各地の大学等を研修先とした長期研修「海外長期フィールドワーク」（3ヶ月程度）に参加します。欧米はもちろん、アジア、アフリカ、オセアニアまで幅広いエリアから研修先を選択します。
実地研修では、拠点となる大学等で言語を学びながら、各自が決めたテーマの調査を行います。現地でのインタビューや資料館･博物館等での情報収集、テーマに関連する場所への訪問･調査などを通じて、言語や文化的背景が異なる人びととコミュニケーションをとる力を身につけるとともに、現地で異文化を学び、新たな発見を重ねることで、自ら問いを立てる力や、多様な環境にある他者に寄り添い、理解しようとする力を磨きます。そして、研究テーマに沿って調査結果を論理的にまとめ、他者に伝える経験を積み、卒業研究の準備をします。
２年次1Q･2Qの「地域学」にて担当教員が各研修先を紹介します。２年次3Q･4Qの「現場学」では、研修先別で基本言語を修得するとともに、「応用演習」と連動しながら研究テーマを設定し、調査計画を立案します。実地研修中には、フィールドワークの経験豊富な教員が、現地での状況をふまえながら柔軟に指導し、調査をサポートします。また、研修終了後には、現地で集めた情報を整理し、成果発表会やフィールドワーク報告展などの形式で活動を報告します。

ポイント

❶ 自分の研究テーマに合わせて、世界各地の拠点を選定
❷ 現地での交流･調査で「生きた語学力」をみがく
❸ リアルな経験から国際的な視点を身につける

フィールドを通して「自らを変える＝メタモルフォーゼする」

海外長期フィールドワークでは、さまざまな地域や文化と関わるなかで、これまで普遍的だと思っていた価値観や既存のフィルターを通してでしか見てこなかった世界を、自らが獲得した新しい世界観のなかで再構築します。また、語学やコミュニケーションの力を磨くことによって、グローバル社会のなかで積極的に行動し、自身のテーマで社会を変えていく、世界が直面する課題の解決に貢献するための力を身につけます。

2 長期フィールドワーク
Long-Term Fieldwork

履修の流れ

年度		授業	大学への書類提出などの諸手続	語学
2025	3	● 前期履修ガイダンス（フィールドプログラム説明会） ● 個別履修相談		
	4	地域学１		TOEFL 対策講座（任意、有料）
	5			
	6	● 研修先希望調査票配布（「地域学1」授業内） 地域学２		
	7	● 研修先説明会　● 個別面談（フィールドワーク先の相談） ● 研修先希望調査票提出（「地域学1」授業内）	● 保護者対象「海外留学説明会」開催	
	8			
	9	● 後期履修ガイダンス（フィールドワーク説明会）	● パスポート更新（該当者のみ）	TOEFL（受験料大学負担）
	10	現場学１ ● 派遣先発表　● 個別履修相談 ● 安全管理／ホームステイ代等費用納付方法の説明		TOEFL 対策講座（任意、有料）
	11		● 派遣先への出願手続き書類一式※ 提出最終締め切り ● 誓約書の提出	TOEFL（受験任意、有料）
	12	● 予防医学研修 現場学２	● 海外プログラム学修奨励奨学金申請（任意） ● 誓約書の提出	
2025	1	● 出発前研修（安全管理オリエンテーション） ●「フィールドプログラム計画書」報告会	● 受入許可証の受理　● ビザ申請、航空券手配	
	2	順次出国 ● 後期進級判定		
	3			
2026	4	海外フィールドワーク１～６／応用演習５		
	5	順次帰国		
	6	● 順次面接 応用演習６		
	7			
	8			
	9	● 最終報告書の提出	● 交通費精算申請書	
	10	アカデミックスキル３		
	11	● 成果発表会　● フィールドワーク報告展		
	12			

※ 派遣先への出願手続き書類一式　例：願書／成績証明書（英文）／健康診断書（英文）／パスポートコピー／証明写真（顔写真）／銀行残高証明書（英文）／推薦書／志望理由書 など

科目の構成

科目	
地域学1・地域学2	地域学1、2では、海外長期フィールドワークの担当者が、研修先となる国や地域の歴史、社会、文化について紹介します。それぞれの国や地域の特性や多様性を学ぶとともに、地域固有の文化や社会が持つ価値観や世界観を客観視する視座を身につけます。本授業を通して、自らの海外長期フィールドワークについて考え、2Qの最後に研修先を選定します。授業の参加度や課題の取り組みによって評価されます。
現場学1・現場学2	現場学1、2は、海外長期フィールドワークの準備クラスです。地域別に分かれ、前半は言語文化など基本的な知識を習得するとともに、個々の海外長期フィールドワークの学修目標をたて、後半には、教員や同じプログラムの他学生との意見交換を通じて自分自身のフィールドワークの計画を立案し、長期フィールドワークの計画報告会にて発表します。危機管理講習の受講など長期滞在に向けた研修準備を行います。授業の参加度、課題の取り組み、フィールドワークの計画と発表によって評価されます。
海外長期フィールドワーク1～6	海外長期フィールドワークは、約3ヶ月間の海外実地研修です。実地研修では、拠点となる大学などで言語を学びながら、各自が決めたテーマに関するフィールドワークを行います。海外長期フィールドワーク中の学びは週報を通じて定期的に報告するとともに、終了後には最終報告書としてまとめます。現地の受け入れ機関で受講した語学クラスの成績評価、フィールドワーク、週報、最終報告書によって評価されます。
応用演習5・応用演習6	海外長期フィールドワーク中には、定期的に遠隔で顔を合わせて、指導を受けます。
アカデミックスキル3	アカデミックスキル3では、2026年2月に予定されているフィールドワーク報告展での展示物/発表物を制作するとともに、報告展の運営（企画、準備、設営、当日の案内や当番、撤収）に参加します。展示物/発表物の制作、発表、報告展の運営への参加度によって評価されます。

研修先一覧

地域	国名	都市	現地受入教育機関	期間（予定）	費用概算
アフリカ	セネガル	ダカール	シェーク・アンタ・ジョップ大学 他	2026年3月～5月	約65万円
ヨーロッパ	フランス	アンジェ	西カトリック大学	2026年2月～5月	約91万円
ヨーロッパ	スペイン	グラナダ	グラナダ大学	2026年3月～5月	約68万円
中東	トルコ	イスタンブール	イブン・ハルドゥーン大学	2026年3月～5月	約56万円
東アジア	韓国	大邱	大邱大学校	2026年3月～7月	約58万円
東アジア	台湾	台北	東呉大学	2026年3月～5月	約31万円
東南アジア	フィリピン	セブ	グローバルランゲージセブ	2026年3月～5月	約57万円
東南アジア	タイ	チェンマイ	チェンマイ大学	2026年3月～6月	約30万円
オセアニア	ニュージーランド	オークランド	オークランド大学	2026年3月～5月	約74万円
北アメリカ	アメリカ	デービス	カリフォルニア大学デーヴィス校	2026年4月～6月	約105万円
北アメリカ	カナダ	バンクーバー	ブリティッシュコロンビア大学	2026年5月～7月	約93万円

※ 費用概算は2025年度（一部2024年度）実績です。　※ 派遣先により費用概算額に含まれていない経費があります。

セネガル

Republique du Sénégal | セネガル共和国

実施時期 2026年3月～5月　**費用** 約65万円　**上限人数** 8名

応募条件 志望理由書、フランス語の学習経験（第2外国語に限らない）があることが望ましい。

日本とも友好関係が長いセネガルは、植民地時代から仏語圏西アフリカの中心として発展しており、農業、漁業や伝統産業が社会を支えています。植民地時代には、このプログラムで訪問を予定しているサン・ルイに仏領西アフリカ（AOF）の首都がおかれていました。セネガルの首都ダカールはアフリカ大陸西端に位置し、西アフリカの政治的な中心として位置づけられています。近年は都市化、国際化が進み、観光産業やサービス業、IT業界も大きく成長している国です。文化面でも大変個性的で、政治経済の面でイスラームが大きな影響力を持っています。力強い宗教の力は、この国の安定した政治体制を下支えしています。さらに、セネガルは美食の国としても知られ、セネガル料理は西アフリカ全体で食されています。

学生・教員の声

日本の大学では珍しい西アフリカのプログラム。セネガルの国民はとても穏やかで親切です。フランスの植民地だった歴史や昨今の中国からの援助、イスラム教の影響を強く受ける生活様式が入り混じった特殊な環境で異文化交流を行いましょう。ぜひセネガルから世界を覗いてみてください。

プログラム概要

期間 2026年3月～5月下旬

語学研修

滞在中は、受け入れ機関であるシェーク・アンタ・ジョップ大学のIFEE（IFEE＝Institut de Français pour les Etudiants Etrangèrs 外国人学生のためのフランス語センター）にてセネガルの公用語であるフランス語を学びます。さらに希望に応じて日常もっともよく使用するウォロフ語を学習します。

［時間割］

	月	火	水	木	金
午前	語学研修				フィールドワーク
午後	フィールドワーク				

フィールドワーク

現地の担当教員とセネガル人の学生チューターの指導を受けながら、個別のテーマについて調査・研究します（テーマ例は右記参照）。この「調査」は、セネガルにホームステイしながら進められます。基本は滞在地のダカール市近郊にて調査を行いますが、研究テーマによってはサン・ルイ市など協力機関がある地方での実施が可能です。毎週決められた曜日に簡単な報告を日本の担当教員に送り、指導をうけて調査をブラッシュアップさせます。滞在の最後には、ダカール大学で簡単な報告会を行います。

〈研修内容〉

JICA、現地NGO、現地のスタートアップ企業などにおいて短期研修を行い、報告レポートを作成します。

【フィールド調査テーマ例】

- セネガルのストリートアート［調査地：ダカール］
- サヘル地域における農業の可能性と地域経済［調査地：サン・ルイ、ダカール 等］
- 創造されるサバールダンスの文化的価値と観光［調査地：ダカール、ゴレ島］
- セネガルで活躍する日本のNGOの研究［調査地：ダカール 他］
- アフリカにおける観光開発と環境［調査地：ンブール、ラックローズ］
- イスラーム伝統教育と近代教育の比較研究［調査地：テイワワンヌ・コキ（イスラーム伝統教育の拠点）］
- セネガルにおける漁業と地域経済［調査地：ダカール、サン・ルイ、ジョアル］

現地受入機関 シェーク・アンタ・ジョップ大学／外国人学生のためのフランス語センター（IFEE）／ガストン・ベルジェ大学（サン・ルイ市）

シェーク・アンタ・ジョップ大学 | シェーク・アンタ・ジョップ大学（国立ダカール大学）は、西アフリカ最大級の国立の総合大学であり、原型は1918年のフランス植民地下にフランス国立アフリカ医科大学として作られました。その後セネガルの独立を経て国立化し、現在の学生数は6学部と7研究科、その他7つの研究センターなどの所属学生を合わせて6万人以上に上ります。2021年度から京都精華大学の提携校になりました。

外国人学生のためのフランス語センター（IFEE） | 受け入れセンターとなる「外国人学生のためのフランス語センター（IFEE）」は、主に留学生のフランス語教育を行っています。

ガストン・ベルジェ大学（サン・ルイ市） | フィールド調査協力機関

現地受入機関	シェーク・アンタ・ジョップ大学 Université Cheikh Anta Diop
	外国人学生のためのフランス語センター（IFEE） Institut de Français pour les Etudiants Etrangèrs
	ガストン・ベルジェ大学（サン・ルイ市） Gaston Berger University（Saint-Louis）
所在地	Avenue Cheikh Anta DIOP, Dakar SENEGAL（シェーク・アンタ・ジョップ大学）
URL	https://www.ucad.sn/（シェーク・アンタ・ジョップ大学）
宿泊情報	大学学生寮もしくはホームステイ
ビザ	不要（日本国籍の場合、現地で外国人登録証を取得必要あり）
予防接種	黄熱病

［FW費用概算］ 2025年度実績

渡航費	約30万円	食費	約11.5万円
海外旅行保険料	約6.5万円	宿泊費	約17万円
その他	—	交通費	—
概算費用			約65万円

フランス

Republique française | フランス共和国

実施時期 2026年2月～5月　**費用** 約91万円　**上限人数** 8名

応募条件 特になし

首都のパリから高速鉄道TGVで約1時間半のところにあるアンジェは古代ローマ時代から続く古い街で、フランスに現存するなかでも最古の城など、中世の歴史を感じさせる町並みを持っています。産業革命以降は農業と商業の街として発展し、ローヌ川を行き来する船舶を中心に産業を発展させました。20世紀になって船舶を使った運輸業が衰退した後も、近郊では伝統的な酒造業やテキスタイル産業、またジャムやチョコレートなどの小規模ながらもフランスで名の知られた食品産業が営まれています。

学生・教員の声

フランス革命後にフランス西部を代表するカトリック系大学として設立された西カトリック大学は、メーヌ・エ・ロワール県の県庁所在地アンジェの中心地から徒歩20分ほどの市街地にあります。今日では国際交流にも力を入れ、アメリカやアジアからの留学生がフレンドリーなスタッフの支援のもとでフランス語やフランス文化を学んでおり、また学生や地元の方々との交流イベントや様々なエクスカーションも多く用意されています。

プログラム概要

期間 2026年2月初旬～5月中旬

語学研修

A1レベル（初級）の学生は週21時間の必修クラスを受講します。親切な教育スタッフと行き届いた教育施設・カリキュラムのもとで、こまめに実施される習熟度テストによってフランス語学習へのモチベーションを維持しながら、常に自分の成長を実感することができます。また、学生や地元の方々との交流イベントや所在地のアンジェを中心としたエクスカーションが多数用意されています。

［時間割］

例）A1レベル

	月	火	水	木	金
8:00～8:55					文法
9:00～10:00		文法	文法	文法	会話
10:15～11:10	聞き取り				聞き取り
11:15～12:15	文法	発音	発音	会話	
13:30～14:25		会話		発音	
14:30～15:30	文法	文法		聞き取り	
15:45～16:45					

フィールドワーク

フランスは世界でも有数の農業先進国です。アンジェ近郊では、多様な農産物を使った伝統的な食品加工業だけでなく、フランスの農業を支える種子産業も盛んです。フランス中世史に関心のある学生にとっても、中世の古城が点在するアンジェ近郊は魅力的な調査地になるでしょう。また、街の中心にある美術館は18世紀のロココ時代のフランス絵画を中心とする美術作品を収蔵するほか、他のギャラリーでも14世紀以降のタペストリーを中心とする美術作品を見ることができるため、美術史の観点からの調査も可能です。

［フィールド調査テーマ例］

- 絵本から学ぶフランスのジェンダー教育について
  ［訪問先：図書館、書店など］
- フランスの食品産業について
  ［訪問先：アンジュワインのワイナリー、アンジェ市内のチョコレート工場、コアントロー社など］
- フランスの種子産業について
  ［訪問先：サンジェンタ・シーズ社、ロワール・シーズ社など］
- フランス中世の城塞巡り
  ［訪問先：アンジェ城塞、ブリザック城、ル・プレシ・ブレ城など］

現地受入機関 西カトリック大学付属語学学校（CIDEF）

西カトリック大学付属語学学校（CIDEF）は、1947年にアンジェの西カトリック大学内に設置された外国語としてのフランス語学習のためのセンターで、毎年1200人の留学生を受け入れています。西カトリック大学は1875年に創設された伝統ある大学です。

現地受入機関	西カトリック大学付属語学学校（CIDEF） Centre international d' études françaises, Université catholique de l' Ouest
所在地	3 place André Leroy, BP10808, 49008 Angers cedex 01, France
URL	https://www.cidef.uco.fr/cidef-english-version/
宿泊情報	ホームステイ
ビザ	学生ビザ
予防接種	不要

［FW費用概算］ 2025年度実績

渡航費	約20万円	食費※1	約17万円
海外旅行保険料	約8.5万円	宿泊費※2	約35万円
その他	約5万円	交通費	約5万円
概算費用			約91万円

※1: 1,000円×170回で換算
※2: 宿泊費には毎日の朝食と週3回の夕食を含む

スペイン

Kingdom of Spain | スペイン王国

実施時期 2026年3月～5月　**費用** 約68万円　**上限人数** 8名

応募条件 特になし

スペインはイベリア半島の80%を占め、北はピレネー山脈を境にフランスと、西はポルトガルと接し、南はジブラルタル海峡越しにアフリカが見えます。
グラナダはスペインの南、アンダルシア地方に位置する人口約25万人の都市で、うち約5万人（20%）が大学生です。学生の町なので物価は概して安く、治安はスペイン国内の他都市と比較すると、とてもよいと言えます。市中にはスペイン屈指の世界遺産であるアルハンブラ宮殿があります。11世紀のレコンキスタ（キリスト教による国土回復運動）の際、イスラム勢力の最後の砦となった場所です。

学生・教員の声

グラナダの人口のうち約4分の1がグラナダ大学の学生という「学生の町」であり、Bar（バル／飲食店）で飲み物を注文したらTapas（タパス／小皿料理）が無料サービスで付いてきます。飲み物を注文するだけでお腹がいっぱいになるこのサービスは、スペイン全土の中でも珍しいようです。また、グラナダでは「グラナダの日本」という日本文化紹介のイベントが毎年開催されており、日本のサブカルチャーを中心に、様々な文化的交流があります。このように魅力たっぷりのグラナダで、充実した留学生活を送ってください。

プログラム概要

期間 2026年3月～5月

語学研修

初日にプレイスメントテストがあり、初学者から国家資格レベルまでスペイン語力別にクラスが編成されます。セビージャ・トレドなどへの泊りがけのトリップや、コルドバなどへの日帰りのトリップ、市内散策、スポーツアクティビティなどが語学学校の教員の案内付で行なわれています。

［日程／時間割］

- 語学研修は8週間
- 週5日（月～金）の1日4時間の計160時間の授業時間
- 期間中3回のフィールドトリップ（グラナダの歴史・文化の見学ツアーなど）やスポーツ・アクティビティなどを予定

クラスは最大でも15名。
80%はアメリカ合衆国からの学生でアジアからの留学生は多くありません。

フィールドワーク

スペインの都市の特徴や文化、社会のことを読み解くには、歴史的な知識が不可欠です。入り乱れる民族、宗教、大きく書き換えられてきた文化。岩根圀和（著）『物語 スペインの歴史　海洋帝国の黄金時代』中公新書（2002）を読むと、スペインの歴史をざっくりと捉えることができます。また、スペインの多様性を知りつつ自分の関心事を見定めていくには、坂東省次（著）『現代スペインを知るための60章』明石書店（2013）なども参考になります。

【フィールド調査テーマ例】

- イスラム文化とキリスト教文化の共存について
  ［訪問先：アルハンブラ宮殿 など］
- スペインの食文化について［訪問先：町なかのバル、郊外の畑 など］
- 多様な建築様式と多様な歴史・文化について
  ［訪問先：アルバイシン、大聖堂 など］
- 伝統工芸の技と紋様――グラナダ陶器、寄せ木細工など
  ［訪問先：寄せ木細工工房 など］
- スペインの多様性とカタルーニャの独立運動について
  ［訪問先：バルセロナ など］

現地受入機関 グラナダ大学現代言語センター

グラナダ大学現代言語センターは、グラナダ市の歴史的中心部にある美しい16世紀の宮殿に位置しています。最新の設備を備え、外国人にスペイン語を教えることに特化した最も権威のあるセンターのひとつです。現代言語センターでは、習熟レベル別に少人数制でアットホームな授業が行われています。語学学校からホームステイ先の紹介があり、安心してホームステイができます。また、留学生のための24時間対応サポートデスクもあります。

現地受入機関	グラナダ大学現代言語センター University of Granada, Modern Language Center
所在地	Placeta del Hospicio Viejo s/n 18009 Granada (España)
URL	https://clm-granada.com/
宿泊情報	語学研修期間中はホームステイ
ビザ	3か月以内は不要（日本国籍の場合）
予防接種	なし

［FW費用概算］ 2025年度実績

渡航費	約23万円	宿泊費※	約38.5万円
海外旅行保険料	約6万円		
概算費用			約68万円

※ 宿泊費は語学研修8週間のホームステイ費用で食事（朝、昼、夕）と週1回の洗濯代を含む
※ 語学研修後のフィールド調査時の宿泊先は各自手配

トルコ

Republic of Turkey | トルコ共和国

実施時期 2026年3月～5月　**費用** 約56万円　**上限人数** 8名

応募条件 特になし

トルコは、アジアとヨーロッパにまたがる地域に位置し、その中心のアナトリア地域は、世界的にも歴史の古い土地で、文明の発祥地ともいわれています。トルコでは、古代からヒッタイト、古代ギリシャ、ローマ帝国、オスマン帝国など様々な文明が栄え、多様な民族が居住・交流し、文化の交流が行われてきました。これらの軌跡は、有形、無形の文化遺産として残されています。また、日本とトルコは政治、経済、文化的なつながりが深く、トルコの対日感情は非常に好意的と言われています。トルコ語と日本語はアルタイ・グループと呼ばれる言語の中に属した姉妹語とされ、日本人にとって学びやすい言語です。

学生・教員の声

トルコは8つの国と国境を接し、3つの海に囲まれた国です。また、地域によって文化や習慣などが異なります。研修先のイスタンブールは、人口1500万人を有するトルコ最大の都市であり、経済、文化、歴史の中心地です。古くは東ローマ帝国の首都コンスタンチノープルとして栄えるなど、紀元前に遡る歴史を持つ国際都市です。街中にはさまざまなルーツを持つ人が行き交っています。また、文化が交差する地でうまれたトルコ料理は、世界三大料理の一つに数えられています。

プログラム概要

期間 2026年3月上旬～5月下旬／3ヶ月

語学研修

イブン・ハルドゥーン大学内に設置されているSchool of Languageでトルコ語を学びます。トルコ語学校にはさまざまな国の出身者が通っており、インターナショナルな雰囲気です。トルコ語学校での学びの準備として、日本で文法の基礎を学ぶことをおすすめします。イブン・ハルドゥーン大学をはじめとするトルコの大学には、日本に関心が高い学生が多いので、現地の学生との積極的な交流によって語学力を高めてください。

［日程／時間割］

履修者は、イブン・ハルドゥーン大学内に設置されているSchool of Languageでトルコ語を学びます。語学学校では、トルコ語の授業を7週間（140時間）受けます。授業は週5日（月～金）、1日4時間程度行われます。週に3回の授業をスレイマニア・キャンパス（旧市街）、残り2回がバシュクシュビル（学生寮のあるキャンパス）で行い、イスタンブールの様々な様子を体感しながら授業が進められます。ここでは、語学習得の基本である「話す・聞く・書く・読む」を習得レベルに合わせて体系的に学びます。また、学外の履修者との交流や、本学学生のためのチューターが平日の午後や週末を利用した各種施設への訪問、見学を行うなど、履修者がトルコの生活にすぐに馴染めるような活動も行っています。

フィールドワーク

イブン・ハルドゥーン大学の位置するイスタンブールは、文化や歴史が豊かであり、また経済発展著しい国際都市です。また、近郊には、豊かな緑と温泉があり世界遺産としても登録されている古都ブルサ（イスタンブールからバスで3～4時間）や、エーゲ海を結ぶ要地として栄えてきたイズミル（イスタンブールからバスで3～4時間）などがあります。語学学校のカリキュラム終了後、履修者は2週間程度のフィールドワークを行います。担当者、現地のアドバイザーと相談の上、安全に気を配った現地調査を設計します。

【フィールド調査テーマ例】

- トルコの食文化について
- 歴史的建造物の保全と活用
- イスタンブールの多様性
- トルコにおける信仰と近代化

現地受入機関 イブン・ハルドゥーン大学

イブン・ハルドゥーン大学は、2015年にイスタンブールに設立された、人文社会科学系の11の学部を擁する私立大学です。名称は高明な歴史学者イブン・ハルドゥーンに由来しています。西洋への知的依存を克服し、伝統を守りながら新しい知を生み出すことを目的として、英語、トルコ語、アラビア語のトリリンガリズムを推進しています。古典的なトルコ建築に基づいて創設された美しいキャンパスには、最新技術を装備した教室、会議室、寮、図書館などが建てられています。キャンパスはイスタンブール国際空港に近く、またキャンパスから市内中心部まで、バス、地下鉄、高速鉄道などの公共交通機関で移動できます。

現地受入機関	イブン・ハルドゥーン大学　Ibn Haldun University, Başakşehir Campus
所在地	Başak Mah. Ordu Cad. No:3 P.K. 34480 Başakşehir/İstanbul
URL	https://www.ihu.edu.tr/en
宿泊情報	大学の学生寮
ビザ	3か月以内は不要（日本国籍の場合）
予防接種	A型・B型肝炎、狂犬病の予防接種を推奨

［FW費用概算］ 2025年度実績

渡航費	約21万円	宿泊費（寮）※	約28.5万円
海外旅行保険料	約6.5万円		
概算費用			約56万円

※ 食費を含む

韓国

Republic of Korea | 大韓民国

実施時期 2026年3月～7月　**費用** 約58万円　**上限人数** 8名

応募条件 「韓国語1」または「韓国語2」の単位を修得していること

韓国の大邱は、古い伝統文化が深く根付いている大都市です。行政・経済・文化上の中心的な役割を果たしていた歴史都市であり、IT国家韓国を象徴するグローバル企業「三星(Samsung)」が起業した地でもあります。大邱は古い歴史が薫る伝統的な街並みが併存する最先端の近未来都市の一つです。東大邱駅から高速列車KTXを利用すれば、ソウルまで1時間50分、釜山まで50分で行くことが出来ます。大邱は大邱大学校を含め12以上の大学が集中している学園都市であり、多くの若者や留学生たちが共に生活している学生の街です。何よりも、安くて美味しい食べ物や最新のファションおよび若者文化の流行を肌で感じることが出来る場所です。

学生・教員の声

韓国海外長期フィールドワークは、韓国語を学びながら、自ら設定した研究テーマを追求するというプログラムなので、面白い研究テーマを見つけましょう。短期間の海外生活とは異なり、長期間の生活では戸惑うこともあると思います。
その戸惑いが異文化体験になります。その戸惑いから新たな発見があり、その発見が新たな自分を作るきっかけになると思います。まずは、恐れずに挑戦してください。

プログラム概要

期間 2026年3月～7月

語学研修

各自の研究テーマを実現するために、大邱大学校の韓国語学堂で、基本的な文法、語彙、聞き取り、話し方、書き方など体系的に学習します。韓国語学堂での学びは、自己紹介、買い物、食事の注文など生活に必要な基礎的な言語機能を遂行することができるレベルから始めます。その後、自分の専門分野での研究や調査の実施に必要な言語機能をより正確で上手に遂げられるレベルまで段階的に教育を受けます。また、韓国文化体験授業を通じて韓国文化に対する理解を深め学習の効果を高めるプログラムが盛り込まれています。語学を学びながら、現地でのフィールドワークに取り組むことになります。

[日程／時間割]

- 韓国語学堂での韓国語教育期間は、1学期(10週)×2学期(全20週)
- 週5日(月～金)の授業で、1日4時間(9:30～13:20)の授業

言語習得の基本である「話す・聞く・書く・読む」を各自のレベルに合わせ体系的に学びます。語学堂では、韓国の多様な伝統文化体験時間があり、言語と文化を同時に学ぶことができます。

フィールドワーク

韓国で行う海外長期フィールドワークでは、協定校である大邱大学校の韓国語学堂で、それぞれのレベルに合うクラスで韓国語を習得します。現地では、様々な国から来た留学生たちと同じキャンパスの中で国際的な交流をしながら共に生活をします。海外長期フィールドワークでは、語学の習得と海外生活の体験をしながら、個人研究テーマを調査することが目的です。そのためには「現場学」を通して研究計画書を明確に作成しなければなりません。また、現地に対する事前学習を自ら十分に行うことが求められ、フィールドワークを実行するためには、これまでとは異なる知見を増やす必要があります。これらの事前学習をベースに、各自が設定した研究テーマを現地で調査し、追求していきます。

[フィールド調査テーマ例]

- 韓国の食文化(精進料理・韓国の辛いもの・キムチの現代的な料理法)を調べる
- 美容大国韓国(化粧法・フェイスマスク・美容食)の現状を調べる
- 韓国の芸術(ストリートアート・伝統舞踊・書道)を調べる
- K-POP(アイドル研究・バラード・オーディション研究)
- K-Danceの力を調べる
- 韓国語(若者言葉・手話・漢字)の現在を調べる

現地受入機関 大邱大学校

大邱大学校は、1946年に大邱盲唖学校から始まりました。1981年に総合大学へ昇格・認可された私立大学です。大邱大学校は、韓国で多くの留学生がいる国際化キャンパス第1位で、就職率も第9位の大学です。広大なキャンパスの大邱大学校はとても綺麗で「美しいキャンパス」10校にも選ばれています。2002年に設置された韓国語語学センターは、多くの外国人に韓国語や韓国文化を教育する機関であります。

現地受入機関	大邱大学校 Daegu University
所在地	201, Daegudae-ro, Gyeongsan-si, Gyeongsangbuk-do, 38453 Republic of Korea
URL	https://eng.daegu.ac.kr/main
宿泊情報	外国人留学生専用寮(国際館)
ビザ	D-4-1(留学ビザ)
予防接種	不要

[FW費用概算] 2024年度実績

渡航費	約5.5万円	食費※	約15.5万円
海外旅行保険料	約11万円	宿泊費	約24万円
		交通費	約2万円
概算費用			約58万円

※1日約1,200円／127日換算

台湾

Taiwan | 台湾

実施時期 2026年3月～5月　**費用** 約31万円　**上限人数** 8名

応募条件 特になし

台湾は、沖縄のさらに南に位置する温暖な島国です。台北市は台湾最大の都市で、経済・政治・文化の中心地です。世界有数の高さを誇る摩天楼と伝統的な芸術が共存し、多様な文化を体験できる街として知られています。観光スポットとしても有名な国立故宮博物院は、東呉大学のキャンパスの近くにあります。
また、台湾は19世紀末から第二次世界大戦終結までの50年間、日本の統治下におかれていたことから、その歴史にふれるのも貴重な体験です。

学生・教員の声

台湾は距離的にも近く、食べ物や街並みなど日本人にとって親しみやすいものが多いため人気の観光地です。しかし一歩踏みいれるとそこには日本と全く違う歴史や文化がたくさんあり、実は「近くてとても遠い」国なのです。そして台湾について勉強する魅力はアジアの国際情勢、植民地支配の歴史、先住民族と現代社会、最先端のアートとテクノロジーなどグローバルなトピックも同時に学ぶことができることです。是非おいしいストリートフードを頬張りながら台湾の多層的な文化を体験してみてください。

プログラム概要

期間 2026年3月～5月

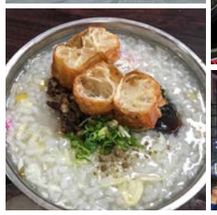
語学研修

台湾台北市にある東呉大学で「Quarter Spring Program」に参加します。午前中の3時間は基礎的な台湾華語（中国語）のレッスンを受け、また語学だけでなく、不定期で実施される文化アクティビティでは台湾の祭礼・習俗・生活様式・美術などの文化について学びます。願い事を書いた天灯（熱気球）を上げたり、日本統治時代に整備された安農渓でラフティングしたり、パイナップルケーキや台湾茶づくり、農業、お茶染めを体験したりなど趣向を凝らした魅力的なラインナップが用意されています（あくまで過去の事例です）。

［時間割］

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	語学研修				
13:00～17:00	フィールドワーク				

※時間割は、レベルによって午前・午後が入れ替わります。



フィールドワーク

台湾には複数の民族が暮らし、歴史的に培われてきた文化や、外との交流のなかで変化してきた文化をさまざまな形で見ることができます。たとえば食習慣を通して文化がどのように変化してきたのかを調べたり、歴史的な建造物をめぐって、現代の社会で伝統がどのようにとらえられているのかを調べたりすることで、アジアのなかの台湾、世界のなかの台湾を考えるヒントが得られるはずです。

【フィールド調査テーマ例】

- 建築について／建築物探訪（台湾の古蹟・伝統建築物など）
- 宗教について／道教（廟探訪等民間信仰）
- 民族について／台湾アイデンティティ、宜蘭クレオールなど
- 歴史について／オランダ統治時代、日本統治時代など
- 飲食について／台湾料理、屋台、喫茶、日本食など
- 交通について／台湾の鉄道、交通網の発展

そのほか様々なテーマがあります

現地受入機関 東呉大学

東呉大学の前身は1900年にメソジスト教会の宣教師たちによって中国・蘇州に設立され、1951年に台北に再建された私立大学です。文学、理学、法学、商学、外語学院の5学院23学科を擁する総合大学で、Chinese Language Centerは台湾華語（中国語）と台湾文化の習得を目指すひとのために2013年につくられました。また、日本語学科は台湾国内でも有名で、多数の学生が日本語を学んでいます。東呉大学の二つのキャンパスからは台北の主要観光スポットへもアクセスしやすく、言語だけでなく文化体験にも適した環境です。

現地受入機関	東呉大学 Soochow University, Chinese Language Center
所在地	No. 70, Linxi Rd., Shihlin Dist., Taipei, Taiwan 111002
URL	http://mandarin.scu.edu.tw/index.php/en/programs/quarter-program
宿泊情報	寮
ビザ	90日以内の滞在はビザ不要
予防接種	不要

［FW費用概算］ 2025年度実績

渡航費	約6万円	宿泊費※2	約16.5万円
海外旅行保険料	約6万円	交通費※3	約0.5万円
その他※1	約1.5万円		
概算費用			約31万円

※1: 寝具セットTWD3,000は現地にて現金払い
※2: 食費は含まない
※3: 空港から東呉大学までの交通費

フィリピン

Republic of the Philippines | フィリピン共和国

実施時期 2026年3月～5月　**費用** 約57万円　**上限人数** 15名

応募条件 特になし

フィリピンは東南アジアに位置する島国で、7,000以上の島から構成されています。人口約1億人、公用語は英語とフィリピン語で、キリスト教徒が大部分を占め、植民地時代のスペイン文化も色濃く反映する国です。今回訪問するセブ島は日本から5時間程度で行くことのできるリゾート地で、豊かな自然環境や歴史的文化が多くある観光都市です。その他にも近年では家具製造や情報通信・ソフトウェア産業にも力を入れています。様々な見どころのある地域で言語習得のみならず異文化理解を深めることを期待します。

学生・教員の声

フィリピンで最古のサントニーニョ教会やマーケット、ショッピングモールなど見どころが多数あるセブ島は、皆さんにとって多彩な経験ができる最適な都市だと思います。また、語学学校も多くあり、施設も綺麗で学習環境に相応しい場所です。ぜひこの機会に様々な施設を巡り現地の人々と交流してください。

プログラム概要

期間 2026年3月～5月／9週間

語学研修

フィリピン研修は、受講生が現地で語学を学ぶコースです。担当教員は現地には出向かず後方支援を行います。現地受入機関のGlobal Language Cebu（GLC）から提供されたプログラムに沿って英語を学習します。教室と同じ建物に入っているGLCの寮に宿泊しながら受講することになります。寮の宿泊費には3食の食費も含まれ、完備された施設で英語を基礎から思う存分学べる良い機会です。デジタルテキストを使用してGLCが開発した教材を元に、プログラムは主に、マンツーマンレッスン・グループレッスンから構成され、リスニングとライティングの強化に役立てます。

［時間割］

	月	火	水	木	金
8:00～12:00	レッスン（文法、リーディング、スピーキング、リスニング、発音、ニュース、カランメソッド、語彙、トピック英会話、トラベル英会話）				実習
13:00～18:00	レッスン（文法、リーディング、スピーキング、リスニング、発音、ニュース、カランメソッド、語彙、トピック英会話、トラベル英会話）				実習

フィールドワーク

各自の関心に基づいたテーマによってフィールドワークの方法は異なりますが、主に現地でしか収集できないような情報を得ること、そして、情報収集の際に現地の人々とコミュニケーションを図ることが共通の目的です。また事前に予定されていたことが実現できなかった場合は現地で実現可能な代替策を模索して柔軟に予定変更を行い、ベストを尽くす努力をすることなどがフィールドワークに求められます。
NGO団体において、週1回の実習プログラムも組み込まれています。

【フィールド調査テーマ例】

- フィリピンの食文化に関する考察
- セブ島の観光業について ――コロナ禍の影響
- セブ島のNGO活動からみる貧困問題
- セブ島のカカオ豆について ――生産現場の調査

現地受入機関 グローバルランゲージセブ（GLC）

2011年にIDEA CEBUとしてスタートした語学学校です。2022年11月に新キャンパスに移転し、グローバルランゲージセブ（GLC）と改名し、学生定員400名を超えるほどの大規模な学校になりました。GLCを卒業した留学生は、それぞれ将来の目標に向かって活動しています。例えば、母国で活躍している人もいれば、世界をステージに挑戦している人もいます。GLCはグローバルの起点となって「英語力」を磨き上げる土台となります。

現地受入機関 グローバルランゲージセブ（GLC）　Global Language Cebu
所在地 2815 New Frontier St., Mabolo, Cebu City, Cebu, Philippines 6000
URL https://jp.ideaeducation.net/
宿泊情報 受入学校内に併設
ビザ 必要（現地到着後、受入学校が手配）

［FW費用概算］ 2024年度実績

渡航費	約10万円	宿泊費※1	約30万円
海外旅行保険料	約6.5万円	その他※2	約10.5万円
概算費用			約57万円

※1: 2人部屋料金（3人部屋25万円）1日3食費用含む
※2: 空港送迎、ビザ延長費、テキスト代など

タイ

Kingdom of Thailand ｜ タイ王国

実施時期 ‖ 2026年3月～6月　**費用** ‖ 約31万円　**上限人数** ‖ 8名

応募条件 ‖ 特になし

タイは13世紀にスコータイ王朝によって築かれ、様々な王朝時代を経て、現在は立憲君主制になりました。面積は日本の約1.4倍ですが、人口は日本の約半分で、大多数が仏教徒のタイ族です。就業者の約40%弱が農業に従事していますが、GDPに占める割合は12%に留まっています。それに比して、製造業の就業者は約15%ですが、GDPに占める割合は約34%、輸出額の約90%弱を占めています。留学先のチェンマイ大学は首都バンコクの北方約720キロに位置するタイ第2の都市チェンマイに位置しています。チェンマイは「北方のバラ」とも称される美しい古都です。チェンマイを中心にモン族、タイヤイ族、ビルマ族など様々な民族が交流するなか、建築や仏像の様式、言葉や料理、工芸の分野などで「ラーンナー文化」と称されるタイ北部独自の文化・伝統が育まれてきました。

学生・教員の声

チェンマイは自然豊かな山岳地帯で、気候は平野部より涼しく過ごしやすい気候です。山岳民族の文化に触れることができます。例えば、竹で編まれた高床式の家屋に泊まり、女性たちの機織りを見学したり、電気も水道もない村での素朴な営みを体験したりするなど、貴重な経験を得られます。手作業による色とりどりの傘やモダンなデザインに仕上げたインテリア雑貨や洋服も魅力的です。大きな楽しみの一つはおいしいタイ北部料理です。マイルドな味のものが多いので、辛いものが苦手という方も楽しめます。

プログラム概要

期間 2026年3月末頃～6月／12週間

語学研修

留学先はチェンマイ大学の人文学部（Faculty of Humanities）になります。人文学部は9つの学科から構成されていて、タイ語のほかタイの歴史や文化も学べます。また、日本研究センターもあって日本に関心のある学生と交流することもできます。例えば、チェンマイ大学の学生が日本の文化に関心のあるタイ人学生と語学を教え合うという自主的な語学学習方法などもあります。そのほか、中国研究センター、韓国語センター、ミャンマー語センターもあり、タイ語を学ぶだけでなく、様々な分野を学ぶ学生と触れ合うことで刺激的な長期フィールドワークとなることでしょう。

［時間割］

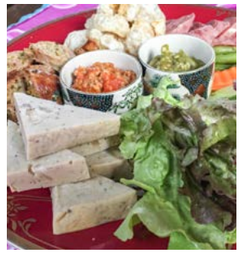
	月	火	水	木	金
9:00～12:00	Level 1～4 Lesson				フィールドワーク
13:00～16:00	Level 5～8 Lesson				

フィールドワーク

各自の関心に基づいたテーマによってフィールドワークの方法は異なるが、主に現地でしか収集できないような情報を得ること、そして、情報収集の際に現地の人々とコミュニケーションを図ることが共通の目的です。事前に予定されていたことが実現できなかった場合は現地で実現可能な代替策を模索して柔軟に予定変更をして、ベストを尽くす努力をすることなどがフィールドワークをするときに求められます。

【フィールド調査テーマ例】

- タイ北部の「ラーンナー文化」に関する調査
- チェンマイ料理の特徴について
- チェンマイの伝統芸能（舞踊や音楽）に関する調査
- チェンマイにおける移民の調査
- チェンマイのナイトマーケットと観光業



現地受入機関 ｜ チェンマイ大学人文学部

チェンマイ大学が創立した1964年当時からある3つの学部のうちの一つです。タイ語、外国語、宗教、歴史、観光、コミュニティなどの分野において学部、大学院などで数多くの人が卒業しています。また、教員やスタッフにもタイ人や外国人がいて、学びと研究のサポートを行っています。受入機関の学年暦の前期は6月末から10月上旬、後期は11月上旬から3月上旬となっています。200人を超える教員と100人を超える職員がいます。学生総数は約3,200人で、タイ人が3,047人、その他は153人となっています。

現地受入機関	チェンマイ大学人文学部　Chiang Mai University, Faculty Of Humanities
所在地	239, Huay-kaew Road, Muang District, Chiang Mai City, Thailand, 50200
URL	https://www.human.cmu.ac.th
宿泊情報	受入大学校内に併設
ビザ	Non-Immigration ED ビザ（教育ビザ）
予防接種	そのつど要確認

［FW費用概算］ 2025年度実績

渡航費	約16万円	査証申請費	約1万円
海外旅行保険料	約6.5万円	宿泊費※	約7.5万円
概算費用			約31万円

※ 食費は含まない

ニュージーランド

New Zealand | ニュージーランド

実施時期 2026年3月～5月　**費用** 約74万円　**上限人数** 8名

応募条件 特になし

ニュージーランドは、英国の小さな田舎町のような雰囲気がある一方で、先住民族マオリの復権が進み、さらに近年は欧州以外からの移民を積極的に受け入れることで、多民族・多文化社会へと変貌をとげています。とくにオークランド市は、マオリのほか、サモアをはじめ南太平洋諸島からの移民が大勢暮らしています。また世界各地からの留学生も非常に多いので、コスモポリタンな活気に満ちています。City of Sails（帆船の並ぶ街）という愛称の通り、天然の良港とおだやかな気候に恵まれ、治安もよく、暮らしやすい街です。人々の英語は聞き取りやすく、話す速度もゆっくりですので英語を学ぶ環境としても適しています。

学生・教員の声

ニュージーランドは、人口500万人で国の規模は大きくありません。しかしながら、「小さな大国」として自然保護、社会福祉などさまざまな側面で先進的な取り組みをおこない、多民族共生社会を着実に実現しています。オークランドは、多様な人々が暮らすニュージーランド最大の都市であるとともに、周辺には変化に富んだ自然環境があります。英語の習得だけでなく、自身の関心のあることについてフィールドワークを行いやすい環境です。

プログラム概要

期間 2026年3月～5月

語学研修

オークランド大学で幅広く英語を学び、ニュージーランドの自然と文化を体感できるプログラムです。一般英語コースでは、読む、書く、聞く、話すという課題を通し、各自の英語によるコミュニケーション能力をバランスよく高めることができます。レベルによって午前、午後いずれかの授業を受け、中級以上のレベルでは選択制の授業も受けることができ、それぞれの目標にあったプログラムを構築することができます。また、土日を含め毎日利用できる自習スペースがあり、常駐する教員からアドバイスをもらいながら、豊富な教材やPCを活用して学ぶことができます。渡航前の準備として、現地での語学研修がより効果的に始められるように、オンラインで自習できる魅力的な教材も提供されます。

［時間割（予定）］

	月	火	水	木	金
8:15～12:30	General English Morning Session				
13:00～17:15	General English Afternoon Session				

※中級以上のクラスに配属されると Elective Class が履修できます

フィールドワーク

ニュージーランドは太古から大陸から切り離され孤立したため独自の生態系が形成されています。自然が豊かで海や山でのアウトドア活動が盛んに行われ、自然保護の取り組みが先進的です。環境保全や健康への関心が高く、国をあげて「反核」の姿勢が鮮明です。また、世界で最初の社会保障制度や女性参政権を導入するなど、さまざまな政策や活動において世界を先導し、現在も多様な人々への配慮が充実した福祉大国です。ニュージーランドの先住民族マオリの存在感は大きく、独自の文化や伝統にふれる機会もあります。これらのニュージーランドの特色と個々の関心がクロスするところでテーマを設定されるとよいかと思います。

【フィールド調査テーマ例】

- 多民族社会における食の多様性
- 「子育て先進国」における男女協働と子どもの生活環境
- マオリの歴史、工芸（木彫、織物、染色など）、音楽、ことば、文化復興運動
- ニュージーランドの生物多様性と環境保護
- 自然災害多発国の日本とニュージーランドの災害対策

現地受入機関 オークランド大学 イングリッシュランゲージアカデミー

オークランドはニュージーランド最大の都市です。緑豊かな公園や数多くのビーチに恵まれ、数々の調査で常に世界で最も住みやすい都市のひとつに選ばれています。また、移民も多く多様な人々が暮らす国際色豊かな多文化都市で す。オークランド大学は学生数46,000人のニュージーランド最大規模の大学です。93カ国以上の国から約7,000人の留学生が学ぶ国際的な環境で、世界トップクラスの教育・研究を実践しています。付属のイングリッシュランゲージアカデミーは市の中心部に位置するオークランドキャンパスに併設されており、様々な英語プログラムを実施しています。

現地受入機関	オークランド大学 イングリッシュランゲージアカデミー
	University of Auckland English Language Academy
所在地	67 Symonds Street, Grafton, Auckland 1010, New Zealand
URL	https://www.ela.auckland.ac.nz/
宿泊情報	ホームステイ
ビザ	90日以内の滞在は不要
予防接種	不要

［FW費用概算］2025年度実績

渡航費	約16万円	宿泊費※1	約45万円
海外旅行保険料	約6万円	その他※2	約7万円
概算費用			約74万円

※1: 宿泊費には平日2食（朝・夕）、週末3食を含む
※2: 空港送迎、ELA加入指定保険料など

アメリカ

United States of America | アメリカ合衆国

実施時期 2026年4月～6月　**費用** 約105万円　**上限人数** 8名

応募条件 出願時に一定の語学力があることを証する必要あり（プログラム概要を参照）

カリフォルニア州北部サンフランシスコから車で1時間ほどの郊外にある街デービスで、留学生たちと共に学べる10週間の英語学習プログラムです。自然豊かで学生の街であるデービスは気候も穏やかで、のんびりとした自然環境の中で学びを深めることができます。週末には美術館、コンサートホール、スポーツスタジアムのあるサンフランシスコやオークランドに足を延ばすことができます。また時間を作ってロサンゼルスやサンディエゴといった同州の大都市を訪問することも可能です。

学生・教員の声

アメリカの中でもカリフォルニア州は特にアメリカの歴史、文化そして様々な社会問題が凝縮されています。開拓時代から中華系・日系の移民が街づくりや商売に携わり、その後も東アジア、東南アジア、中南米からの人たちがより良い人生を求めて移住し、アメリカの発展に貢献してきました。現在ではその子孫たちが自分たちの伝統とアメリカ文化をミックスしたものを自らのアイデンティティーとして受け入れて生活しています。同じ州で、スペイン語や中国語しか聞こえてこないところがあれば、昔のカントリーウェスタンの映画のようなところもあります。しかしそんなお互いの違いを時には摩擦を生みながらも尊重しあって共存しようとしている姿に共生社会の未来があるように思えます。

プログラム概要

期間 2026年4月3日～6月12日／10週間（語学研修）

語学研修

「Destination Davis Program」の一部であるAcademic Engagement Track（AET）は、課題解決や実体験を通して英語を学び、学術的な知見を深める5週間×2=10週間のコンテンツ・ベースのプログラムです。必修のAcademicクラスや、映画・ドラマ・アメリカ社会・ビジネスなどの多岐にわたるテーマから選択できるElectiveクラス、様々な分野の専門家から話を聴く週替わりレクチャー、その他「書く」「話す」 力を伸ばすための実践的メニューが用意されています。このプログラムへの参加にあたり推奨されるTOEICスコアは500点以上です。

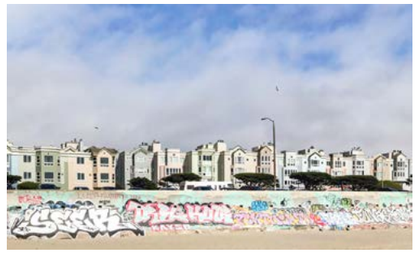
※ 求められる英語能力レベルについて：出願時に次のレベル以上の英語力があることを証する必要があります。

TOEFL - ITP（PBT）	430以上
TOEFL - iBT	39以上
TOEIC L&R	500以上
IELTS	4以上

その他CEFR A2以上相当の英語検定試験の結果に代えることも可能。この基準を満たせない者はデービス校が提供するMPT（Michigan Placement Test）を受講して400点以上のスコアを獲得しなければ受入不可とする。

［時間割（予定）］

	月	火	水	木	金
9:00～10:50	Academic Research Series (core)	Academic Literacy Series (core)	Academic Research Series (core)	Academic Literacy Series (core)	Weekly Lecture Series by content experts (various academic subjects)
11:00～12:50	Elective Series I	Elective Series II	Elective Series I	Elective Series II	Follow-up discussion section by student assistants Experiential Learning: campus/community engagement
14:00～14:50	Conversation Club	ILC Writing Center	Conversation Club	ILC Writing Center	



フィールドワーク

移民文化を受け入れ、多様性溢れるアメリカ西海岸の空気感を体験しながら環境、社会、芸術など興味あるテーマに沿ったフィールド・ワークに取り組めます。チャイナタウンやインド・日本・ベトナム人街など、大小様々な移民地区に行ったり、美術館、博物館に行って展示を見たり、またスタジアム、劇場などの娯楽施設などに足運んだりしてリサーチをすることができます。

【フィールド調査テーマ例】

- 多文化共生：アジアやラテンアメリカの移民を多く受け入れ、国際色あふれる街サンフランシスコやオークランドの移民社会のあり方
- 多様性の尊重と人権運動：全米最大のLGBTコミュニティーの形成や毎年6月に開催されるプライドパレードの歴史と社会的な理解の高まり
- 食と文化：サンフランシスコ生まれの『Blue Bottle Coffee』、「キムチタコス」などが大人気となりSNSで場所を知らせるフードトラック、フードロスや環境危機に対する意識から生まれたヴィーガン、フリーガン、スローフードなど社会と文化から影響を受ける人々の嗜好
- スポーツと文化：MLB、NFL、NBA、WNBA、MLSといったアメリカの野球、バスケ、サッカー、ホッケー、アメリカンフットボールなどのプロスポーツがいかに一大産業へと発展し、また市民たちの娯楽だけでなく地域や人種的なアイデンティティーとどのように結びついているのか。

現地受入機関 カリフォルニア大学デービス校

カリフォルニア大学デービス校（University of California, Davis／UCデービス）は、自然豊かで広大なキャンパスに約3万人以上の学生が学んでいる大規模州立総合大学です。UCバークレー、UCLAに次ぐ全米トップの州立大学の1つで、特に世界でも屈指の生物及び農業関連の研究設備を誇る名門校で、教員・卒業生・研究者等がノーベル賞・ピューリッツァー賞等を受賞するなど高い評価を受けています。

現地受入機関 カリフォルニア大学デービス校 UC Davis
所在地 One Shields Ave., Davis, CA 95616, U.S.A.
URL https://cie.ucdavis.edu/academic-preparation-and-pathway-programs/destination-davis/academic-engagement
宿泊情報 ホームステイ
ビザ 学生ビザ（F-1）
予防接種 不要

［FW費用概算］ 2024年度実績

渡航費	約20万円	宿泊費※1	約60万円
海外旅行保険料	約6.5万円	交通費	約6万円
査証申請費	約8万円	その他※2	約4.5万円
概算費用			約105万円

※1：ホームステイ／約12週間・3食付き
※2：空港出迎え、学生サービス料など

カナダ

Canada | カナダ

実施時期 2026年5月～7月　**費用** 約93万円　**上限人数** 8名

応募条件 特になし

世界で最も美しく住みよい街のひとつといわれるカナダ西海岸のバンクーバーは、アジアからの移民を含め世界各国から多くの人々が暮らす国際的な都市です。活気あふれる中心街から車でわずか20分程にある緑豊かな森と海に囲まれた広大なUBCキャンパスには、病院・消防署から人類学博物館や植物園まであらゆる施設が整い、安心で快適な留学生活を送ることが出来ます。

学生・教員の声

カナダもアメリカ合衆国のように移民の国であり、様々な文化背景やアイデンティティーを持った人々が共生しています。しかしアメリカとの違いもたくさんあります。公用語が英語とフランス語の2言語で、アフリカ系や中東からの移民コミュニティーが大きいこと、医療制度や社会保障が充実していること、冬が厳しく雪がたくさん降ることなどが挙げられます。またアメリカ先住民族の伝統文化の保護や政治への参加などもアメリカ合衆国より積極的におこなわれています。

プログラム概要

期間 2026年5月5日～7月25日／12週間（語学研修）

語学研修

UBCキャンパス中央に位置するEnglish Language Institute（ELI）にて、2種類のプログラムを体験します。
まずは、グローバルな視野を持ち冒険心に溢れる学生のために用意された8週間のDISCOVERプログラムで、実用的な英語のスキルを身につけます。午前中にたっぷりと基本的な4技能を学び、その知識をもとに、学外へ出かけて、現地の人々との交流など様々なテーマ別プロジェクトに取り組みます。金曜日には発音や文法などを深く学べる3時間のワークショップも用意されています。
次に、環境、異文化間コミュニケーション、メディア、テクノロジーなどのグローバルなテーマで英語を学習するASPIRE On Campusプログラムを4週間受講します。課外活動としては、UBCの在学生たちがCultural Assistants（CAs）として企画するスポーツや文化体験などのアクティビティに 自由に参加することが出来ます。

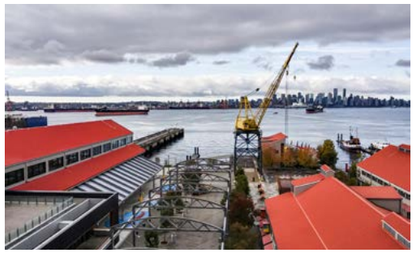
［時間割（予定）］

DISCOVER: 5/5～6/26(8weeks)

	月	火	水	木	金
8:30～12:00	<Schedule A> Integrated Skills Class (Reading, Writing, Listening, Speaking)				Optional Workshop (10:00～)
12:00～13:00	Lunch break				
13:00～14:45	<Schedule A> Projects <Schedule B> Integrated Skills Class (Reading, Writing, Listening, Speaking)				
15:00～16:45	<Schedule B> Projects				

ASPIRE: 6/30～7/25 (4weeks)

	月	火	水	木	金
9:00～12:30	Morning Class				



フィールドワーク

カナダは多文化主義政策を採用し、それぞれの文化を尊重し異なる出身の人々が平等に参加できる社会づくりを目指しています。そのため、先進的に行われているマイノリティへの配慮など多様性を尊重する取り組み、先住民や移民の言語文化の保持への取り組みなどを調査テーマとすることができます。また、バンクーバーは先住民が住み続けてきた土地でもあり、公園や博物館などで先住民族の世界観ついて学ぶことができます。
ナチュラル志向の人々が多いことも特徴であり、「オーガニック」「ローカル（地産地消）」をキーワードに、有機野菜や果物を扱う店も多く、各地では「ファーマーズマーケット」が開催されており、健康への意識の高さやオーガニック食品のビジネスをテーマにすることも可能です。

【フィールド調査テーマ例】

- 多文化共生の歴史：民族や言語が多様で、各国からの移民とくにアジア系住民が多数を占めるコミュニティーの形成の現状を調べる（日系人カナダ人社会など）
- 多様性の尊重：LGBTQの大きなコミュニティーが形成されており、人々の意識の在り方や社会での平等性の確保への取り組みを調査する（Rainbow flagやPride paradeなど）
- マイノリティへの配慮 ：身体的なハンディキャップを抱える人々に対する社会的な配慮とそのシステムの違いを比較検討する（路線バス・電車等の交通機関および公共施設）
- 食と健康：ナチュラル志向を反映して、有機野菜や果物を扱う店も多く、また「グルテン・フリー」を好む人々の増加など、健康への意識の高さを調査する
- カナダ先住民のアート作品における自然観：博物館等で彫刻や版画、工芸品に見られるモチーフを調査し、先住民の人々と自然との関わりを探る
- カナダの言語政策と現状：移民言語が親世代から子ども世代にどのように受け継がれているのかを、インタビューやアンケートを通して明らかにする

現地受入機関 ブリティッシュコロンビア大学 イングリッシュ・ランゲージ・インスティトュート

1908年に創立されたブリティッシュコロンビア州が設置したカナダ屈指の名門公立総合大学。学部生は約4万人で西部カナダ最大の総合大学であり、現カナダ首相のジャスティン・トルドーをはじめこれまで4人のカナダ首相経験者が卒業し、さらに7人のノーベル賞受賞者を輩出しています。また常にカナダの大学のトップ3に入っており、世界大学ランキングでも50位以内をキープするなど、国際的な知名度が高く、カナダ国内で最も入学基準が厳しい大学の一つです。

現地受入機関 ブリティッシュコロンビア大学イングリッシュ・ランゲージ・インスティトュート
The University of British Columbia English Language Institute
所在地 2121 West Mall, Vancouver, BC, Canada V6T 1Z4
URL https://eli.ubc.ca/
宿泊情報 ホームステイ（3食／日）
ビザ 電子渡航認証（eTA）
予防接種 不要

［FW費用概算］2025年度実績

渡航費	約23万円	宿泊費※1	約61万円
海外旅行保険料	約6万円	その他※2	約3万円
概算費用			約93万円

※1：ホームステイ／約12週間・3食付き
※2：UBC加入指定保険など

履修にあたっての注意事項

【海外長期フィールドワーク 1～6】履修前

「フィールドワーク計画書」の共有

2年の3Q・4Qでは、「応用演習3・4」と「現場学1・2」を通じて「フィールドワーク計画書」を作成します。各自の「応用演習3・4」担当教員（ゼミ担当教員）と「現場学1・2」（つまり「海外長期フィールドワーク1～6」）の担当教員の双方と共有し、3年次1Q・2Qの海外研修に臨んで下さい。

履修計画

3年次1Q・2Qは「海外長期フィールドワーク1～6」および「応用演習5・6」以外の科目は、原則履修できません。教職／博物館学芸員／図書館司書の資格取得を目指している学生のうち、3年次1Q・2Qに資格課程科目を履修しなければ資格取得が困難ないし不可能な学生は、必ず2年次後期中に教務チームの資格課程担当職員のところに行き、3年次以降の資格課程の履修計画について相談して下さい。
また、2026年4月1日より前に現地に渡航するプログラムを履修する学生は、3年次1Q・2Q資格課程ガイダンスに出席できないので、必ず渡航前に教務チームの資格課程担当職員のところに行き、必要な手続きを確認して下さい。

連絡体制の確保

3年次1Q・2Qのオフ・キャンパス学習中も、「応用演習5・6」担当教員あるいは「海外長期フィールドワーク1～6」担当教員からメール等を介して各種の指示が送られます。携帯端末等でもメールチェックができるよう、大学メールアドレス（～@st.kyoto-seika.ac.jp）に送られたメールの転送設定を必ず行なって下さい。
上記以外にもセイカ・ポータルでは重要な連絡事項が通知・掲示されます。「学習のてびき」等に掲載されている転送先メールアドレスの設定を行ない、少なくとも週1度は定期的にポータル上の掲示をチェックして下さい。
なお、海外留学型プログラム履修中に現地からセイカ・ポータルをチェックする場合には、日本との時差を考慮して下さい（セイカ・ポータルは日本時間24:00から翌6:00までメンテナスのためアクセスできません）。
大学メールアドレスやセイカ・ポータルを1週間以上にわたってチェックしないことによって不利益が生じたとしても京都精華大学は一切責任を負いません。

3 年次前期履修登録と履修ガイダンス

3年次開始時に「海外長期フィールドワーク1～6」および各専攻の「応用演習5・6」の履修登録をする必要はありません。これらの科目については事前に一括登録を行ないます。
また、なかには4月1日より前に現地に渡航するものがあります。その場合、3年次開始時の履修ガイダンスには出席できませんので、ガイダンスでの配布資料等をセイカ・ポータルにアップロードします。必ず、現地で目を通して下さい。

【海外長期フィールドワーク 1～6】履修中

学修時間の確保

3年次1Q・2Q中は、各自が2年次3Q・4Qに「現場学」で作成した「フィールドワーク計画書」記載のスケジュールに沿って、基本的に「海外長期フィールドワーク1～6」および「応用演習5・6」の7科目14単位分、つまり月曜日から金曜日にかけて1日約8時間の自主学習を15週間（あるいは長期休暇中の作業を含めるなら1日約6時間の自主学習を20週間）取り組みます。

週報・日報

各プログラムで提出スケジュールが決められている週報・日報は、通常授業で提出する出席票・コメントカードに相当します。週報・日報の様式や提出方法については、「現場学1・2」で知らせます。
スケジュールどおりに週報・日報が提出されなかった場合、その理由を証明する書類（遠隔地の場合はその写真）等を提出しないかぎりは「応用演習5・6」の授業を欠席したとみなされます。連絡なしに週報・日報の提出が遅れた場合の「応用演習5・6」担当教員の手順は、以下のとおりです。

――――――

2週間にわたり週報・日報が提出されない：
学費支弁者への報告（留学生の場合は保証人への報告）
3週間にわたり週報・日報が提出されない：
再度、学費支弁者への報告（留学生の場合は保証人への報告）
4週間にわたり週報・日報が提出されない：
フィールドワークのF評価確定とフィールドワークの中止となります。

事故やケガをした場合

［学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険］
本学の学生は、『学生教育研究災害傷害保険』と『学研災付帯賠償責任保険』に全員加入しています。

――――――

『学生教育研究災害傷害保険』とは――
被保険者が在籍する大学の国内外における教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合に支払われる保険です。ただし「病気」はこの保険の対象となりません。
『学研災付帯賠償責任保険』とは――
日本国内外において、保険期間中に学生が、正課、学校行事およびその往復で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上支払わなければならない損害賠償金が支払限度額の範囲内で支払われる保険です。
もしもプログラム中に上記のような事態が発生した場合、まずは「海外長期フィールドワーク1～6」担当教員に相談をして下さい。教員と連絡がつかない場合には、学生グループまたは教務グループに相談をして下さい。
なお、海外旅行保険にも別途加入します。

【海外長期フィールドワーク 1～6】履修後

フィールドワーク最終報告書の作成・提出

3年次1Q・2Qのフィールドワークがおおよそ終了した時点で、「海外長期フィールドワーク1～6」担当教員の指導のもとでフィールドワーク最終報告書を作成します。この最終報告書は学部に提出するもので、提出締切は2026年9月30日（水）であり、提出方法や様式については2025年度3Q・4Q履修ガイダンスの中で告知します（この最終報告書は後述のフィールドワーク報告展でも展示します）。この最終報告書には、主として以下の点を盛り込んで作成します。

――――――

- 3年次1Q・2Qの実地研修に至るまでに準備したこと
- 実際に3年次1Q・2Qの実地研修で行なったこと
- 3年次1Q・2Qの実地研修の成果と反省、今後の学習計画
  （海外長期フィールドワークの成果と卒業論文の関係）など

3年次1Q・2Q科目の単位を落とした場合

3年次前期の履修科目のうち、「海外長期フィールドワーク1～6」と「応用演習5・6」は必修科目であり、卒業までに必ず単位取得しなければなりません。しかしながら、「海外長期フィールドワーク1～6」は3年次後期開始よりも後に成績が確定することがあるので、以下のことに気をつける必要があります。

応用演習5・6

3年次3Q開始時に成績通知書で「応用演習5・6」の単位が取得できているかを確認した上で、もし「応用演習5・6」の単位が取得できていない場合（H／F／K評価あるいは「履修中」表示の場合）は、3年次3Q開始時の個別履修相談会に必ず出席してゼミ担当者に成績を確認して下さい。

海外長期フィールドワーク 1～6

3年次3Q開始時の個別履修相談会に必ず出席し、自分の「海外長期フィールドワーク1～6」担当教員に各科目の成績を確認して下さい。

アカデミックスキル3

「アカデミックスキル3」は3年次後期の11月初旬に実施される「フィールドワーク報告展」への取り組みによって評価されます。

UNITED
UNITED EXPRESS
N645RW
STOP
STOP
STOP

京都精華大学海外プログラムにおける安全管理に関する規則

1 海外プログラムの種類

この規則でいう「海外プログラム」（以下、「プログラム」）とは、京都精華大学の正規海外留学制度である交換留学・海外ショートプログラム・海外フィールドプログラム等や、それに準ずる研修旅行のことをいう。

2 安全管理に関する「主体性」の原則

海外では、国内の活動とは異なり、一般的に危険や病気、事故等に遭遇する可能性が高い。
それらから自らの安全を守るために、各自が最大限の対策を講じる必要があり、万が一、そのような事態に遭遇した際には、できる限り被害を最小限にとどめ、すみやかに危険から離れることが求められる。
本学では、プログラムの準備と現地での実施期間中、学生の安全を守るための配慮と方策、そしてそれに基づく指導を可能な限り行うが、プログラムに参加する学生は各自が主体的に自覚と責任を持ち、適切な判断と行動をとらなければならない。もしも何らかの問題が発生した場合は、参加学生と本学との間で真摯に連携・協働し、解決に向けて努力する。この理解の下で、本学のプログラムに参加する学生は、以下に記された規則を遵守することが必要である。

3 プログラム参加にあたっての規則

3-1 プログラム開始前

（1）プログラムの目的と内容を担当教職員および保護者（以下、「プログラム関係者」）へ説明し、承諾を得ること。
（2）渡航地域に関しての現地情報（治安・保健衛生・交通・通信等の事情）を得ること。外務省・海外安全ホームページの国・地域別海外安全情報において、「レベル2：不要不急の渡航は止めてください」またはそれ以上のレベルが発出されている国・地域への渡航は、プログラムごとに大学によってその可否が判断される。
（3）渡航・滞在計画をプログラム関係者へ提出すること。
（4）出発以前に必要十分な海外旅行保険に加入していること。現地の諸事情を勘案し、保険のタイプを選ばなければならないが、少なくとも疾病・傷害の治療と救援者派遣費用は無制限に補償されているものでなければならない。
（5）学生は出発に先立ち、自らの健康状態を十分に把握し、不安や医師の反対がある場は出発を見合わせなければならない。また、渡航先における伝染病等の感染を回避するため、必要に応じて予防接種を受ける、あるいは予防内服などを行うなど、適切な予防措置を講じなければならない。
（6）学生は医師の治療や投薬を受けている場合、または心身の健康状態に留意すべきことがある場合、出発前に必ずプログラム関係者にその内容を伝えなければならない。場合によっては医師による健康診断書の提出を求めることもある。
（7）京都精華大学は上記の事項を確認し、安全管理上問題があると判断した場合は、学生の研究計画等プログラムの変更、渡航の延期や中止を指示することがある。

3-2 プログラム期間中

（1）同一国に3か月以上滞在する場合、渡航後に最寄りの在外日本大使館または領事館へ「在留届」を提出しなければならない。
（2）プログラム期間中、学生は定期的にプログラム関係者と連絡をとり、現地における住所・連絡先・旅行計画等の変更があった場合はすみやかに報告しなければならない。
（3）プログラム期間中、学生は以下のことを守らなければならない。
① プログラム実施に関する京都精華大学の決定や指示には必ず従うこと。
② 滞在国・地域の法律・法規を遵守すること。
③ 公序良俗に反する行為をしないこと。
④ 受入先機関の規則を遵守し、迷惑をかけぬようにすること。
⑤ 自動車・自動二輪車の運転は原則として行わないこと。但し、現地にて他の公共交通手段の利用が著しく困難な場合、プログラム関係者の判断の下に、学長の許可を得ることで自動車・自動二輪車の運転を行うことができる。

（4）以下の場合に、プログラムの変更または中止、プログラム途中での帰国を命じる場合がある。
① 学生が上記プログラム期間中（1）～（3）に記載された事項を守らず、あるいは本人の素行が著しく不良であると京都精華大学が判断する場合。
② 病気・事故・事件・災害・感染症等、予測し得ない安全管理上の緊急事態によってプログラムの続行が不可能であると京都精華大学が判断する場合。

3-3 プログラム終了後

（1）プログラム終了後の滞在延長や旅行をする場合は、帰国までの滞在先・連絡先・旅行計画等をプログラム関係者に連絡すること。
（2）帰国をした学生は1週間以内にプログラム関係者に帰国の報告をしなければならない。

4 免責事項

以下の場合に、学生が被る学籍・教務・金銭等にかかる不利益に関して、学生ならびにその保護者は京都精華大学にその責任を問うことはできない。
（1）京都精華大学がプログラム途中での帰国を命じる場合。
（2）緊急事態等の発生によって、京都精華大学がプログラムの変更あるいは中止を決定、指示した場合。
（3）予測し得ない事態により事故や災害が発生し、疾病や負傷に至った場合。
（4）プログラム終了後の滞在延長や旅行の期間中に問題が発生した場合。

5 誓約書の提出

この規則の趣旨を理解した上で、プログラムに参加する学生ならびにその保護者は『誓約書』を指定の期日までに提出しなければならない。

2021年1月30日 グローバル教育センター会議 改訂

● 安全管理について

渡航前に「安全管理オリエンテーション」に必ず出席し、安全に対する心構え、海外で起こりうる事故・事件への対策などについて学びます。そこではテロ、自然災害、病気などの海外で想定される危機をどのように回避するのか、具体的な事例を挙げて説明します。
「京都精華大学海外プログラム等における安全管理に関する規則」をよく理解したうえで誓約書を提出することが渡航条件となっています。準備から帰国まで「自分の身は自分で守る」意識を強く持ち、安全第一で行動してください。

● 予防接種・予防薬

渡航先の情報を事前に収集し、自分が必要と思う予防接種を自己判断で受けて渡航してください。なお、みなさんが渡航する前に「熱帯予防医学研修」を受講してもらいます。自分の渡航先と研修内容を参考に、予防接種・予防薬の準備をしてください。

予防接種・予防薬 例） 新型コロナ　黄熱病※　A型肝炎　B型肝炎　狂犬病　マラリア

※セネガルを選択した場合は必須

● 持病がある場合

持病や体質に不安がある場合は、海外留学を決めた時点で必ず主治医と相談してください。病気によっては常備薬が必要であったり、定期的な健診が必要になったりする場合があります。また、留学先によっては日本で手に入る薬が手に入らないということもあります。現地で起きた症状や通院は全て自己責任の範疇となるため、留学先の体調管理に関しましては、必ず主治医の指示に従うようにしてください。
なお、歯の治療は保険の適用外です。渡航前に治療を済ませておきましょう。

● メンタルヘルス

みなさまは留学をとおして全く知らない文化に飛び込んでいきます。だれでも新しい文化へ適応するまで、新しい文化からの拒絶感、アイデンティティの混乱、それらからくる無力感を感じます。このようなカルチャーショックに対応するための準備をしましょう。

》なんでも連絡できる友だち・グループを作っておく
予め友達に渡航先から連絡することを伝えておきましょう。到着の連絡、食べたもの、学んだことなど言葉がうまく通じない間も、誰かと話すと不安が和らぎます。

》日本の本やラジオ番組などを持っていく
渡航先でもインターネットが使えますが、インターネットの接続にも準備が必要です。インターネットが使えなくても気分転換できるよう、日本の本を持って行ったり、日本のラジオ番組をダウンロードしたりして行きましょう。

》好きな食べ物をできるだけ持っていく
食事があわないことがストレスになることもあります。あなたが好きなお菓子などを持っていき、ちょっとした気分転換につまみましょう。

● 保険の加入

渡航にあたっては、海外旅行保険への加入を必須としています。海外滞在中のケガや病気だけでなく、万が一の場合に家族や大学関係者が現地へ駆けつけるための救護費用、対人・対物での損害賠償などを幅広く補償する、本学のプログラムに適した総合保険を紹介します。大学からの指示に従って海外旅行保険に加入してください。

● 危機発生時の連絡フロー

現地において皆さんが緊急時に24時間電話で日本語によるサポートを受けることができるように、ヘルプデスクサービスに大学が加入しています。まずは、このヘルプデスクに連絡をしてください。世界各国で実績がある留学サポートのプロフェッショナルです。電話番号は派遣先によって異なりますので、渡航前に資料を配布いたします。

万が一、24時間日本語ヘルプデスクにつながらない場合は京都精華大学警備棟、グローバル推進グループにご連絡ください。

第1連絡先
OSSMA などの 24時間日本語ヘルプデスクサービス
※渡航前に連絡先を配布します。

第2連絡先
京都精華大学警備棟
24時間
TEL: +81-75-722-3729

第3連絡先
グローバル推進グループ
日本時間 9:00～18:00
TEL: +81-75-702-5199
Email: kokusai@kyoto-seika.ac.jp

4 各種書式
Forms

フィールドワーク選択用紙

学籍番号		名　前	
緊急連絡先			

履修を志望するフィールド

	プログラム名
第１志望	
第２志望	
第３志望	
第４志望	

※以下のプログラム・リストのなかから、必ず第４志望までますべて記入すること。記入内容に不備がある場合、プログラムの抽選で不利になることがあります。

プログラム・リスト

■セネガル　■フランス　■スペイン
■トルコ　■韓国　■台湾
■フィリピン　■タイ　■ニュージーランド
■アメリカ　■カナダ

次ページに続く

1

志望動機・理由

第１志望プログラム	
【志望動機・理由】	

第２志望プログラム	
【志望動機・理由】	

第３志望プログラム	
【志望動機・理由】	

第４志望プログラム	
【志望動機・理由】	

※以上の【志望動機・理由】の枠は目安なので、記入内容が多すぎて枠が広がってしまっても構いません。

2

フィールドワーク選択用紙

京都精華大学
学長　澤田　昌人　殿

誓　約　書

私（参加者本人）は、海外プログラム等へ参加するにあたり、京都精華大学が定める下記の『京都精華大学海外プログラム等における安全管理に関する規則』の趣旨を十分に理解した上で、記載事項を遵守いたします。
また、私は、主体性の原則のもとにプログラムへ参加するものとし、地震、洪水等の自然災害、自他を問わず不注意や危機が原因で起こる事故・災害、疫病（Covid-19 等）、その他の不可抗力に該当する緊急事態への対応の結果生じうる各種損害について、京都精華大学が損害賠償責任を負わない ことに同意します。

***

『京都精華大学海外プログラム等における安全管理に関する規則』

1　海外プログラムの種類
この規則でいう「海外プログラム」（以下、「プログラム」）とは、京都精華大学の正規海外留学制度である交換留学・海外ショートプログラム・海外フィールドプログラム等や、それに準ずる研修旅行のことをいう。

2　安全管理に関する「主体性」の原則
海外では、国内の活動とは異なり、一般的に危険や病気、事故等に遭遇する可能性が高い、それらから自らの安全を守るために、各自が最大限の対策を講じる必要があり、万が一、そのような事態に遭遇した際には、できる限り被害を最小限にとどめ、すみやかに危険から離れることが求められる。
本学では、プログラムの準備と現地での実施期間中、学生の安全を守るための配慮と方策、そしてそれに基づく指導を可能な限り行うが、プログラムに参加する学生は各自が主体的に自覚と責任を持ち、適切な判断と行動をとらなければならない、もしも何らかの問題が発生した場合は、参加学生と本学との間で真摯に連携・協働し、解決に向けて努力する。この理解の下で、本学のプログラムに参加する学生は、以下に記された規則を遵守することが必要である。

3　プログラム参加にあたっての規則

3-1　プログラム開始前
(1)　プログラムの目的と内容を担当教職員および保護者（以下、「プログラム関係者」）へ説明し、承諾を得ること。
(2)　渡航地域に関しての現地情報（治安・保健衛生・交通・通信等の事情）を得ること。外務省・海外安全ホームページの国・地域別海外安全情報において、「レベル2：不要不急の渡航は止めてください」またはそれ以上のレベルが発出されている国・地域への渡航は、プログラムごとに大学によってその可否が判断される。
(3)　渡航・滞在計画をプログラム関係者へ提出すること。
(4)　出発以前に必要十分な海外旅行保険に加入していること。現地の諸事情を勘案し、保険のタイプを選ばなければならないが、少なくとも疾病・傷害の治療と救援者派遣費用は無制限に補償されているものでなければならない。
(5)　学生は出発に先立ち、自らの健康状態を十分に把握し、不安や医師の反対がある場合は出発を見合わせなければならない。また、渡航先における伝染病等の感染を回避するため、必要に応じて予防接種を受ける、あるいは予防内服などを行うなど、適切な予防措置を講じなければならない。
(6)　学生は医師の治療や投薬を受けている場合、または心身の健康状態に留意すべきことがある場合、出発前に必ずプログラム関係者にその内容を伝えなければならない。場合によっては医師による健康診断書の提出を求めることもある。
(7)　京都精華大学は上記の事項を確認し、安全管理上問題があると判断した場合は、学生の研究計画等プログラムの変更、渡航の延期や中止を指示することがある。

3-2　プログラム期間中
(1)　同一国には6月以上滞在する場合、渡航後に最寄りの在外日本大使館または領事館へ「在留届」を提出しなければならない。
(2)　プログラム期間中、学生は定期的にプログラム関係者と連絡をとり、現地における住所・連絡先・旅行計画等の変更があった場合はすみやかに報告しなければならない。
(3)　プログラム期間中、学生は以下のことを守らなければならない。
①　プログラム実施に関する京都精華大学の決定や指示には必ず従うこと。
②　滞在国・地域の法律・法規を遵守すること。
③　公序良俗に反する行為をしない こと。
④　受入先機関の規則を遵守し、迷惑をかけないようにすること。
⑤　自動車・自動二輪車の運転は原則として行わない こと。但し、現地にて他の公共交通手段の利用が著しく困難な場合、プログラム関係者の判断の下に、学長の許可を得ることで自動車・自動二輪車の運転を行うことができる。
(4)　以下の場合に、プログラムの変更 または中止、プログラム途中での帰国を命じる場合がある。
①　学生が上記プログラム期間中（1）～（3）に記載された事項を守らず、あるいは本人の素行が著しく不良であると京都精華大学が判断する場合。
②　病気・事故・事件・災害・感染症等、予測し得ない安全管理上の緊急事態によってプログラムの続行が不可能であると京都精華大学が判断する場合。

3-3　プログラム終了後
(1)　プログラム終了後の滞在延長や旅行をする場合は、帰国までの滞在先・連絡先・旅行計画等をプログラム関係者に連絡すること。
(2)　帰国をした学生は１週間以内にプログラム関係者に帰国の報告をしなければならない。

4　免責事項
以下の場合に、学生が被る学籍・教務・金銭等にかかる不利益に関して、学生ならびにその保護者は京都精華大学にその責任を問うことはできない。
(1)　京都精華大学がプログラム途中での帰国を命じる場合。
(2)　緊急事態等の発生によって、京都精華大学がプログラムの変更あるいは中止を決定、指示した場合。
(3)　予測し得ない事態により事故や災害が発生し、疾病や負傷に至った場合。
(4)　プログラム終了後の滞在延長や旅行の期間中に問題が発生した場合。

5　誓約書の提出
この規則の趣旨を理解した上で、プログラムに参加する学生ならびにその保護者は『誓約書』を指定の期日までに提出しなければならない。

***

年　月　日

学　籍　番　号	
参加者氏名（署名）	㊞

保護者は参加者本人が上記事項を遵守・同意することを保証い たします。（※）

年　月　日

保護者氏名（署名）	㊞

※参加者本人が保護者と住居を共にせず、保護者の署名・捺印を取得することが困難な場合（留学生、または実家が遠隔地にある国内学生）に限り、電話やメール等の通信手段を使って、保護者から本件に関する保証を取り付けた旨を誓約（以下の□に✓）することにより、保護者の署名・捺印に代えることができます。

□　私（参加者本人）は、遠隔地にいる保護者から本件に関する保証を取り付けたことを誓い ます。

誓約書

関連授業

【フィールドワーク科目】: 海外短期、長期フィールドワークの科目、フィールドワーク入門／方法論、語学系科目

科　目	配当年次	開講学期
Business English	2·3·4	1Q
English discussion	2·3·4	2Q
Effective presentation	2·3·4	3Q
English for studying abroad	2·3·4	4Q
フランス語圏事情理解	2·3·4	1Q
フランス語圏文化理解	2·3·4	2Q
フランス語圏経済理解	2·3·4	3Q
フランス語圏のメディア	2·3·4	4Q
フィールドワーク入門	2	2Q
フィールドワーク方法論	2	3Q
地域学1	2	1Q
地域学2	2	2Q
現場学1	2	3Q
現場学2	2	4Q
海外長期フィールドワーク1	3	1Q
海外長期フィールドワーク2	3	1Q
海外長期フィールドワーク3	3	1Q
海外長期フィールドワーク4	3	2Q
海外長期フィールドワーク5	3	2Q
海外長期フィールドワーク6	3	2Q

【地域研究科目】: 地域について学ぶ科目

科　目	配当年次	開講学期
地域研究入門	2·3·4	3Q
地域研究特講	2·3·4	2Q
アフリカ地域研究1	2·3·4	2Q
アフリカ地域研究2	2·3·4	4Q
アジア地域研究1	2·3·4	3Q
アジア地域研究2	2·3·4	4Q
アメリカ地域研究1	2·3·4	3Q
アメリカ地域研究2	2·3·4	4Q
大洋州地域研究	2·3·4	4Q
欧州地域研究	2·3·4	3Q

【グローバル関係科目】【グローバル共生社会科目】【グローバル文化科目】: テーマについて学ぶ科目

科　目	配当年次	開講学期
グローバル関係概論	2·3·4	3Q
グローバルヒストリー概論	2·3·4	4Q
グローバルヒストリー特講	2·3·4	4Q
多国籍企業論	2·3·4	3Q
社会運動論	2·3·4	4Q
世界の宗教	2·3·4	2Q
アフリカ·アジア関係論	2·3·4	2Q
国際政治学	2·3·4	2Q
国際社会の法秩序	2·3·4	3Q
人口動態論	3·4	未定
人口政策論	3·4	未定
比較社会学	2·3·4	1Q
先住民族研究	2·3·4	3Q
ポストコロニアル概論	2·3·4	4Q
国際開発論	2·3·4	4Q
マイノリティ研究概論	2·3·4	2Q
グローバル·ビジネス論	2·3·4	1Q
グローバル化とメディア	2·3·4	3Q
エイジング研究概論	3·4	未定
子ども学概論	3·4	未定
地球環境学概論1	2·3·4	4Q
地球環境学概論2	3·4	未定
地球環境学概論3	3·4	未定
NGO論	2·3·4	4Q
平和学	2·3·4	2Q
市民社会論	2·3·4	3Q
人間の安全保障	2·3·4	1Q
観光学総論	2·3·4	3Q
世界の文学1	2·3·4	未定
世界の文学2	2·3·4	4Q
世界文化遺産	2·3·4	未定
アフリカ美術	2·3·4	4Q
マテリアル·カルチャー概論	2·3·4	3Q
民族音楽論	2·3·4	4Q
比較服飾文化論	2·3·4	4Q
比較建築文化論	2·3·4	4Q

学内での国際交流

● コミュニケーションセンター（iC-Cube）

iC-Cube（Inter-Cultural Communication Commons）は、多文化交流や異文化理解のための共同学習スペースです。英語をはじめとする各国言語の言語交換、講演会、ワークショップなどの国際交流イベントを開催しています。語学力は不問ですので、気軽に国際交流を楽しみましょう。イベントはクォーター毎に日程が変わるので、セイカポータルでお知らせします。

● ランチタイムカフェ｜12:15～12:55

在学生が主体となって運営する昼休み時間帯の曜日替わりイベントです。室内では飲食自由ですので、各自で持参した昼食をとりながらイベントに参加してもOKです。

2024年度 前期ランチタイムカフェの実施例
〈時間〉12:15～12:55〈場所〉iC-Cube
［月］コリアン・アワー／［火］メディア・カフェ／［水］Keep Seika Weird／
［木］イングリッシュ・アワー／［金］フレンチ・アワー

● 留学生との交流

カリフォルニア大学デービス校、バードカレッジとの交流
3月末～6月初旬にカリフォルニア大学デービス校、6月下旬～7月下旬（隔年）にバードカレッジの学生が本学に滞在して日本語と日本文化を学びます。週2回の日本語会話セッションで会話練習のお手伝いをしたり、歓送迎会やフィールドトリップ（日帰り、1泊2日）に参加して、交流を深めましょう。
※2025年度はバードカッレジの受け入れを予定しています。詳細は2025年度以降の予定は随時セイカ・ポータルで発表します。

● 交換留学生歓送迎会

海外協定校からの交換留学生の歓送迎パーティーを春と秋にそれぞれ開催します。
交換留学生は半年間にわたり同じキャンパスで学ぶ仲間です。異文化を持つ学生との交流は皆さんの学びに影響を与え、学生生活を豊かにすることでしょう。少しでも関心を持った人はぜひ積極的に参加してください。
※スケジュールはセイカポータルで案内します。

● 国際学生寮 修交館

留学生と日本人等学生がともに生活し、交流を通して国際感覚を磨くとともに、様々な価値観に触れて多文化を学ぶ場です。居室は留学生と国内学生の2人1部屋で、学部1年生が主な居住者です。ただし、2年生以上もレジデント・アシスタント（寮の学生スタッフ。毎年11月に募集。）として入寮の機会があります。国際交流や組織づくり、イベント運営に興味のある人はぜひレジデント・アシスタントを検討してください。

● レジデント・アシスタント募集人数｜日本人等学生2名、留学生2名

レジデント・アシスタント活動奨励奨学金：20,000円／月
※レジデント・アシスタントになるには審査があります。募集は毎年11月に行います。詳細はセイカポータルでお知らせします。

奨学金制度

1. 海外プログラム学修奨励奨学金

【給付型】窓口：グローバル推進グループ

長期フィールドワークへの参加者を対象とした給付型奨学金（返済不要）です。給付は半年分の学費が減免されます。

給付金額：半年分の学費減免

採用者数：10名程度

募集時期：11月下旬〜1月下旬

出願資格：
①出願の前年度のGPAが3.0以上
②TOEFL-ITPのスコアが550点以上
③標準的な単位数を前年度までに修得している（年間31単位以上）

2. 海外プログラム履修奨励貸与奨学金

【貸与型】窓口：グローバル推進グループ

短期／長期フィールドワークへの参加にあたり、必修にもかかわらず経済的な理由により履修困難な学生は、無利子で参加に必要な資金を借りることができます。

貸与金額：最大30万円まで

採用者数：上限なし

募集時期：11月下旬〜1月下旬

出願資格：
①必修科目の単位をすべて修得済または修得見込であること。
②修得済累計単位数が1クォーターあたり平均で8単位数以上（資格課程科目の単位数と認定単位数は除く）であること。

3. JASSO（日本学生支援機構）「第一種・第二種奨学金（国内）」

【貸与型】窓口：学生グループ

留学を対象とした奨学金ではありませんが、必要な金額だけ借りて貸与を中止することや、在学中に返済を開始することも可能ですので、計画的に利用することで留学資金の準備のために活用することも可能です。
家計基準等の条件があるため、詳しくは学内説明会へ参加してご確認下さい。

4. JASSO（日本学生支援機構）「海外留学支援制度」

【給付型】窓口：グローバル推進グループ

海外留学支援制度（協定派遣）は毎年大学からJASSOにプログラム申請を行い、プログラムの審査の結果、配当の有無が決定します。本学に毎年配当があることが保証されているわけではないので、本奨学金の受給を前提とした留学計画を立てないでください。

給付金額：月額6万円〜10万円と渡航支援金16万円（一定の家計基準を満たす者）

採用者数：未定

出願資格：
①日本国籍を有する者または日本への永住が許可されている者
②派遣先大学が受入を許可する者
③前年度の成績評価係数（JASSOが規定する［成績評価係数の算出方法］をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数点第3位を四捨五入して算出）が3.00満点で2.30以上であること
④語学基準を満たしていること（英語の場合は、TOEIC 400点以上、TOEFL PBT 435点）以上、TOEFL iBT 41点以上、IELTS（Academic Module）5.0以上）。
⑤日本学生支援機構から給付奨学金（返済不要）を受給していない者

知っておきたい関連情報

外務省海外安全ホームページ
https://www.anzen.mofa.go.jp/

外務省・各国所在の日本大使館ウェブサイトのリンク情報
https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/zaigai/index.html

厚生労働省検疫所「FORTH」
https://www.forth.go.jp/index.html

感染症疫学センター
https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

WHO世界保健機関
https://www.who.int/

Q&A

Q. トラブルがおきないか不安です。

A. 本学は24時間日本語ヘルプデスクサービスと提携しています。これにより、海外滞在中は24時間365日、日本語による相談窓口を無料で利用できます。また、渡航に際して、治療・救援費用が無制限補償される保険への加入を義務付けており、渡航中の事件、事故、病気、その他トラブル等の対応に備えています。

Q. ホームステイのメリット・デメリットは何ですか。

A. ホームステイは語学だけでなく、現地の生活文化や習慣を体験でき、英語でコミュニケーションをとる機会が多くあります。一方で、ホームステイ先の家庭のライフスタイルに合わせる必要があり、食事内容、シャワーの時間制限、門限などルールを守る必要があります。

Q. 寮のメリット・デメリットは何ですか。

A. 寮は学生同士の共同生活ですので学生間の友達の輪を広げやすいでしょう。時間の使い方や食事についてそれぞれのライフスタイルを柔軟に保ちやすい一方、個室でない場合はプライバシーを保ちにくいこともあります。

Q. 語学力に自信がないのですが、大丈夫でしょうか？

A. 海外研修は語学力を問いませんので、誰でも参加できるプログラムです。長期フィールドワークでは語学研修がプログラムに組み込まれています。ただし、留学をより有意義なものとするために、渡航前からできるだけ学習していきましょう。大学によっては出願時に英語のスコアの提示が求められたり、テストが行われる場合もあります。

Q. 現在パスポートを持っていないのですが申し込みはできますか？

A. 申し込みは可能ですが、パスポートがないと、航空券の予約をはじめ渡航準備に支障が出ます。パスポートの申請をしてから取得までには時間がかかりますので、すみやかにパスポート申請の手続きを進めてください。また、すでにパスポートを保有していても、有効期限が迫っている場合は、更新手続きをお願いします。

Q. 外国人留学生でも留学できますか？

A. 留学可能です。出身国、滞在ビザの関係や受け入れ国によって対応が様々です。ご自身で留学希望国のビザ申請について調べてみてください。

Q. 留学前に学内で留学準備・疑似留学を行う場はありますか？

A. p.50の「学内での国際交流」をご覧ください。国際交流イベントでは学内の留学生と交流することができますので、積極的に参加してください。

Q. 就職に有利・不利はありますか？

A. 海外留学の経験が就職に有利になることはあっても、不利になることはあまり考えられません。注意を要するのは、帰国時期が一般的な就職活動の開始時期と重なることです。就職活動をしっかりスタートできるよう準備をしておきましょう。

2025年度 海外長期フィールドワークプログラム 履修案内

執筆・編集 ‖ 京都精華大学 国際文化学部
グローバルスタディーズ学科
京都精華大学 グローバル推進グループ

デザイン ‖ 川越健太

写　　真 ‖ 川越健太（表紙、p.02-03, p.11, p.12-13, p.40-41）

発 行 日 ‖ 2025年3月31日

発　　行 ‖ 京都精華大学 国際文化学部
グローバルスタディーズ学科
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

© 2025 Department of Global Studies,
Faculty of Global Culture, Kyoto Seika University

京都精華大学

DEPARTMENT OF GLOBAL STUDIES, FACULTY OF GLOBAL CULTURE, KYOTO SEIKA UNIVERSITY

OVERSEAS LONG-TERM FIELDWORK PROGRAM GUIDE 2025

Department of Global Studies, Faculty of Global Culture, Kyoto Seika University, 2025